

発行日 2007年2月15日  
発行： 盲人情報文化センター録音製作係  
〒542-0071 大阪市中央区道頓堀1丁目3番23号道頓堀千鳥ビル

聴いてわかる図書を作るために (第11回)

## 目次の階層化は本の種類で工夫しましょう

久保 洋子

**立音** 訳者のみなさん、デジタイズ図書を読んだ(聴いた)ことがありますか?デジタイズ図書はかつてのテープ図書に比べて様々な利点があります。

まず音が良いことはすぐ気付かれると思います。音の劣化もなく、データはどんなに繰り返しコピーをしても同じ音質でずっと聞くことができます。

その他、章ごとにとぶことも出来る、ページごとにとぶことも出来るなど墨字の本を読むのにより近い読書が可能になりました。

こうしたデジタイズ図書の利点を生かせるように編集者はいろいろ工夫をしています。その一つ、目次の階層化は音訳者にも知っていただきたいと思います重要な項目です。

本は様々です。例えば小説は筋を追って読むもので基本的にはあまり行ったり来たりする読み方はしません。それでも章、節などでセクション分けをしておけば区切りの所で中断したり、途中から読みつなぐ時などには便利です。

目次の階層は、第1章 第2章・・・、或いは1、2、・・・。その下の項目の1の1、1の2、・・・。1の1の1、1の1の2、・・・などが次々、短いピッチで出てくるのは小説などではあまりふさわし

くないと思います。そんな時は番号を付ける必要があれば①、②、・・・などにしても良いと思います。

項目が春、夏、秋、冬、とか、一月、二月、・・・などの時には番号を付けなくてもいいでしょう。下の項目も春の一、春の二、・・・とすることもできます。

エッセー、随筆なども大体小説に準じて考えることができます。

これに対して、料理の本、病気に関する本などは項目を選んで聞くこともあり、そうした時、目的の項目がすぐ出て来るような作り方が要求されます。目的の項目を探すには目次からページでとぶ、セクションを送って探すなどの方法があります。こうした本では細かくセクション分けをしてそのセクションに今どこにいるのかがすぐわかるように番号を付けておくと便利です。(1の1、1の1の1など)

通して聞くものではわずらわしい、1の1の1、1の1の2などの番号も項目を選んで聞く場合は大変便利です。

本は一冊一冊違います。一冊一冊、利用者により分かり易く、利用し易い作り方を皆で考えて行きましょう。

録音製作予定表

### 3月

7日(水)

『ポランティア交流会』於：玉水記念館

録音ボランティア20年表彰会(6人)

・遠藤敏子さん・前田枝都子さん

・山口孝代さん・立辺敏子さん

・荒俣洋子さん・尾屋智恵子さん

10日(土) 『古典チーム勉強会』 13時～15時

14日(水) 『理数チーム勉強会』 13時30分～15時

16日(金) 『東洋医学勉強会』 15時～17時

22日(水) 『二十四の躰勉強会』 10時～12時

23日(金) 『芸術チーム勉強会』 10時～15時

24日(土) 『パソコンチーム勉強会』 13時～15時

28日(水) 『フライベイトチーム勉強会』 13時半～15時

### 4月

9日(月) 『児童訳初心者講習会』第一期スタート

11日(水) 『橋本勝利のフォロアアップ講習会』

水曜コーススタート

13日(金) 『橋本勝利のフォロアアップ講習会』

金曜コーススタート

19日(水) 『録音図書製作講習会』スタート

※試験日は4月5日(水) 10時～12時

### 5月

12日(土)

『録音ボランティアの研修・交流会』

於：玉水記念館10時～16時

対象 録音製作に携わる音訳者・校正者・

編集者・作業ボランティア

※当日は録音製作に携わるボランティア・職員は

全員 玉水会館へ集合します

## 2007年度 各種講習会の案内

各種講座の申し込みは、メールでも受け付けます。講習会名・住所・名前・年齢・電話など必要事項を明記の上、お申し込みください。

E-mail [rec@iccb.jp](mailto:rec@iccb.jp)

### 2007年度 「音声訳初心者講習会（全8回）」のご案内

盲人情報文化センターでは、初心者の方を対象にした、「音声訳初心者講習会」（全8回、毎週、月曜日の午後）を実施します。

この講習会は発声、アクセント、腹式呼吸など音声訳に必要な基礎的な訓練を中心に行います。2007年度は、4期に分けて下記の通り実施します。

受付は申し込み順で行い、試験はありません。定員になりし次第締め切らせていただきます。

※注意 この講習を終了されても録音図書を作る音声訳の活動はできません。録音図書を製作するには、別に実施します、『音声訳プライベート図書製作講習会』（自宅録音）や蔵書図書を製作するための『録音図書製作講習会』（スタジオ録音中心）を受けていただくことになります。

#### 講習会実施時期

第1期生 2007年4月9日（月）～6月4日（月）

第2期生 2007年7月23日（月）～9月10日（月）

第3期生 2007年10月15日（月）～12月3日（月）

第4期生 2008年1月21日（月）～3月10日（月）

いずれも 13:00～15:00

#### 講習内容

1. 発声の基礎
2. 読みの基本

講師 安田 知博 氏

定員 15名

費用 3000円（全8回分）

### 2007年度 専門図書音訳講習会のご案内

「東洋医学コース」 2007年10月～12月 金曜日予定 全5回  
講師：片山 一夫 氏（元国立神戸視障センター）

「パソコンコース」 2007年11月～12月 月曜日予定 全5回  
講師：中本 和代 氏（近畿視情協「パソコンチーム」リーダー）

「古典コース」 2008年 2月～3月 土曜日予定 全5回  
講師：近畿視情協「古典チーム」予定

※今年度の専門講座は上記の3コースの予定です。詳しい内容が決まり次第お知らせいたします。尚、盲人情報文化センターの音訳ボランティアで、この講習を受けておられない方で、蔵書録音を3年以上活動されています方は、出来るだけ受講していただきます。受講終了後、講師の先生の推薦があり本人が希望する時は「チーム」に入って活動していただきます。

## 2007年度 『録音図書製作講習会』のご案内

盲人情報文化センターでは、当センターの「蔵書図書」を製作する「録音図書製作講習会」を下記の内容で実施します。

この講習会の対象者は①自宅でノートパソコンが用意できて、②音声訳に必要な基礎的な訓練を終了した方で、③講習終了後、盲人情報文化センターに週1回程度来館してスタジオ録音も可能な方です。

講習会では、「録音図書」を作成するのに必要な技術（パソコン録音技術、調査、音声訳処理、校正、スタジオ録音実習など）を学びます。

受講希望の方は、申込用紙に必要事項を記入の上、盲人情報文化センター録音製作係までお送り下さい。

\*担当 盲人情報文化センター 録音製作係 電話06-6211-0910

実施時期： 2007年4月19日(木)～2008年3月  
※原則、毎月第1、第2木曜日 16回予定  
10:00～12:00  
※2008年より月1回

会場： 盲人情報文化センター 6階 会議室

講習内容： 1. パソコン録音技術、読み、調査  
2. 漢字、図、表などの音声変換処理  
3. スタジオモニター実習

資格： ○発声の基礎を終了されている方  
○ノートパソコンが用意できる方  
○講習終了後は、週1回程度来館し、スタジオ録音も可能な方

費用： 2000円(資料代)

定員： 10人

試験日： 4月5日(木) 10時～12時  
盲人情報文化センター

各種講座の申し込みは、メールでも受け付けます。講習会名・住所・名前・年齢・電話など必要事項を明記の上、お申し込みください。

E-mail rec@iccb.jp

## 2007年度 橋本勝利先生の「フォローアップ講座」のご案内

盲人情報文化センターでは、橋本勝利先生による、現在活動中の音声訳者を対象にした、「フォローアップ講座」(前期・後期 各6回)を実施します。

この講座は、現在、音声訳の活動している方の音訳の技術アップを図る講座として実施しています。今回は前期と後期との分けて実施しますが、前期・後期通しの申し込みも受け付けます。

尚、これまでは第4の水曜と4金曜の午後に実施していましたが、

2007年度より、第2の水曜・第2金曜の午後に変更しました。

受付は申し込み順で行い、試験はありません。定員になり次第締め切らせていただきます。

※申し込みは 盲人情報文化センター録音製作係 電話 06-6211-0910

講座実施時期

前期講座(水曜コース・金曜コース 各6回)

2007年4月11日(水)・13日(金)～9月12日(水)・14(金)

後期講座(水曜コース・金曜コース 各6回)

2007年10月10日(水)・12日(金)～2008年3月12日(水)・14(金)

いずれも 13:00～15:00

講習内容 テキストを使用して読みの研修

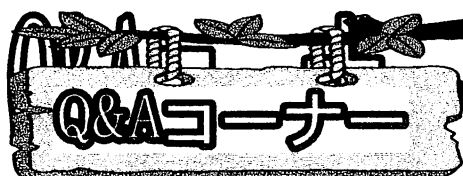
講師 橋本 勝利 氏

定員 10～12人程度 ※定員オーバーの時は「午前のコース」を設けます。

費用 前期5000円(全6回分) / 後期5000円(全6回)

前期・後期通し 8000円(12回)

(途中で講習を辞められても返金できません。)



PRSで録音していますが、録音のつまみを最大にしてもなかなか録音のボリュームがあがりません。他にボリュームをあげる方法がありますか。マイクは乾電池を使用するマイクです。インターフェイスは使っていません。



パソコンへダイレクトに録音していて、「マイク入力」のレバーを右へ最大にしても録音のボリュームがなかなかあがらないときは、以下の方法で上げることができます。

①「ボリュームコントロール」を開き、(画面の右下にしあるスピーカーのマークを右クリックして、「ボリュームコントロールを開く」を左クリックすると開きます。)

②「ボリュームコントロール」の「マイク」の欄の下にある「トーン(A)」を左クリックすると「マイクの詳細設定」が開きますので、「1マイクブースト」の空欄に「チェック」を入れます。これでマイクのボリュームは上がるようになります。

※ 既に「チェック」が入っているのであれば外付けの「オーディオインターフェイス」を付けることをおすすめします。

※ 「マイク」の下のところ「トーン(A)」

の表示が無い時は、左上にある「オプション」を左クリックし「トーン調整(A)」を左クリックします。「トーン調整(A)」に「チェック」が入ると「マイク」の欄の下に「トーン(A)」という表示が出てきます。

※※ 「トーン調整(A)」が「薄い表示」になっていてクリックできない時は、「プロパティ」をクリックして「録音」に「マーク」を入れ、「OK」を左クリックします。そうすると「トーン調整(A)」が濃く表示され、「チェック」を入れることが出来るようになります。

※※※ 画面の右下に「スピーカー」のマークが無い場合は、「スタート」を左クリックして、「設定」→「コントロールパネル」→「サウンドオーディオデバイス」→「サウンドとオーディオデバイスのプロパティ」を開いて、「音量」をクリックすると「録音コントロール」が開きます。

## グループの『ろくおん通信』の更新について

2007年度の『ろくおん通信』の更新時期になってまいりました。2006年度は自動更新にさせていただきましたが、2007年度につきましては、今後の『ろくおん通信』の紙面の変更点などをご理解の上、ご希望される方のみお申し込みください。

### <今後の『ろくおん通信』の紙面の変更について>

これまで、『ろくおん通信』の内容はグループの利用が多いことから、盲人情報文化センターのボランティア向けの内容をあまり掲載してきませんでした。しかし、この間、盲人情報文化センターの講習会を修了した自宅録音チームなど8グループを超えてきました。こうした事から、今後、この『ろくおん通信』は盲人情報文化センターのボランティア向けの情報紙として位置づけ編集していく予定です。

尚、申し込み部数は、2007年度より「1部のみ」とさせていただきますのでご了承ください。

年間購読料 1部 2000円(送料込み)

## カセットテープからのデジータ図書作成(その9)

## 11. プロジェクトのファイル構成

PRSを用いたデジータ編集の各ステージにおけるプロジェクトのファイル構成を見てみよう。PCMとMP3の場合では音声ファイルの構成が若干異なるが、ここでは音声フォーマットとしてMP3を採用した場合について紹介する。

また、説明を容易にするため、テープ全1巻(A面、B面)、セクション数9個の簡潔なファイル構成の小品(医学情報に関する新聞の切り抜き記事)のデジータ編集の場合を例に紹介する。

## (1) 録音・編集後

テープ1A面、1B面を録音した MP3 (64kbps) フォーマットのプロジェクト(例: asahiigaku) で、編集直後(ビルドブック前)の編集画面およびファイル構成(エクスプローラ画面)を示す。

テープ1A面、1B面に対応する2個のMP3 音声ファイルとプロジェクト管理用の3つのファイル(「Ncc.imdn」、「ImdPhrInfo.imph」、「ImdTxtTabl.imtt」)から構成されている。これらのファイル構成は録音直後から変わっていない。

参考: 上記例はテープ転送で録音した場合であるが、音声インポートで音声データを取り込んだ場合もファイルの構成は同じである。

## (2) ビルドブック後

ビルドブックを実施することにより、PLEXTALKなどのデジータ図書再生機が使用するナビゲーションファイルであるNcc.html ファイル1個と、音声ファイルの再生タイミングを制御するSMIL(スマイル)ファイルなどのデジータフォーマットファイルが生成される。SMIL ファイルはセクション毎に1個ずつ(例: 合計9個)作成される。

MP3 音声ファイルの場合には、ビルドブックによって音声ファイルの再構築は行われない。すなわち、音声ファイルとしてはテープの枠アナなどの不要な音声データが削除されていない録音直後の状態のままである。しかし、Lp Player や PLEXTALK などのデジータ専用再生機での再生には全く問題ない。

参考: PCM音声ファイルの場合にはビルドブックによって、不要な音声データが削除され、音声ファイルの再構築が行われる。

図 編集画面(例:「朝日新聞・医学情報」)

セ...	見出し	フレーズ	長さ	ページ
1	朝日新聞・医学情報(05. 7. 9~7. 15)	3	00:00:12	
2	7. 9 朝刊・生活欄「尿漏れ理解する冊子」	28	00:01:30	709 (1)
3	7. 10 朝刊・医療欄「旅行と健康管理(下)」	92	00:05:19	710 (1)
4	7. 10 朝刊・日曜版「教えて、夏のお肌対策」	95	00:04:41	
5	7. 12 朝刊・元氣欄「快適美足のツボ」	112	00:05:58	712 (1)
6	7. 12 朝刊・総合欄「睡眠サイクル取り戻す」	32	00:02:18	
7	7. 13 朝刊・生活欄「四感(音/におい/感...	91	00:05:05	713 (1)

フレーズ	長さ	ポーズ	グル...	ページ	マーク	音声ファイル
1	8.8	1.4		(710)		a000001.mp3
2	3.0	1.0	*			a000001.mp3

図 録音・編集後のファイル構成例(エクスプローラ画面)

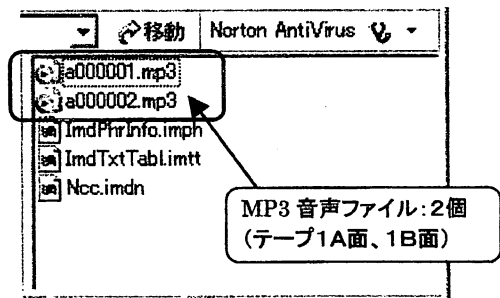
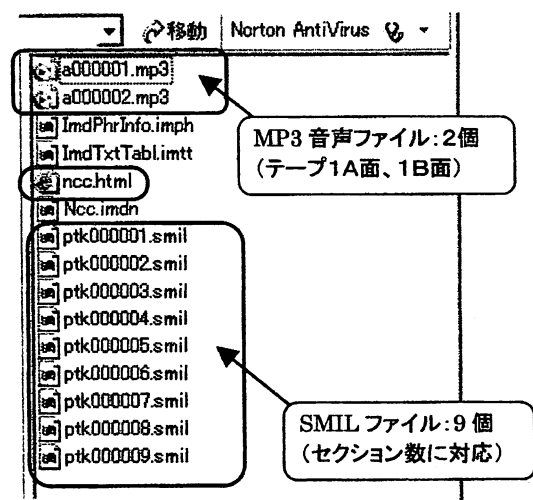


図 ビルドブック後のファイル構成例(エクスプローラ画面)

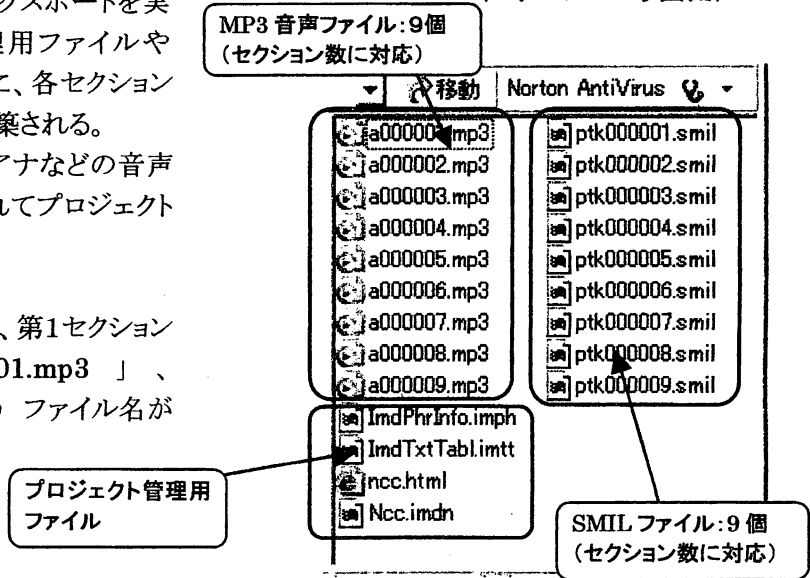


### (3) 音声エクスポート後

ビルドブックについて、音声エクスポートを実施することにより、プロジェクト管理用ファイルや SMIL ファイルが更新されると同時に、各セクションに対応したMP3音声ファイルが再構築される。編集により不要となったテープの粹アナなどの音声データが再構築により削除・整理されてプロジェクトの完成である。

参考:再構築された音声ファイルには、第1セクションから順番に「a000001.mp3」、「a000002.mp3」、……というファイル名が付けられる。

図 音声エクスポート後のファイル構成例 (エクスプローラ画面)



## 12. オーディオCDプレーヤによる再生

デジター図書(CD)は Lp Player や AMIS (アミ) 等の再生ソフト(いずれもリハ協提供)を用いてパソコンで再生できるほか、PLEXTALK などのデジター図書再生機で再生することができる。

また、MP3 音声フォーマットのデジター図書は一般のオーディオCDプレーヤ(ただし、MP3対応)でも再生することができる。

音声エクスポートしたデジター図書はセクションごとに音声ファイルが再構築されており、ページ検索はできないが、セクション毎に再生することができる。

パソコンにインストールされている Windows Media Player (Ver.9.0) で再生した場合、[再生リスト表示] 部分にアルバム名に対応するプロジェクト名(例: asahiigakuB)と曲名(トラックナンバー)に対応するセクションごとの音声ファイル名(例: a000001、a000002、……)が表示される。

ウォークマンCDプレーヤなどを用いると移動しながらデジター図書を聞くこともできる。

参考:オーディオCDプレーヤ再生にはMP3音声ファイルだけ有ればよい。プロジェクト管理用ファイルや SMIL ファイルは不要である。

図 [再生リスト表示]部拡大

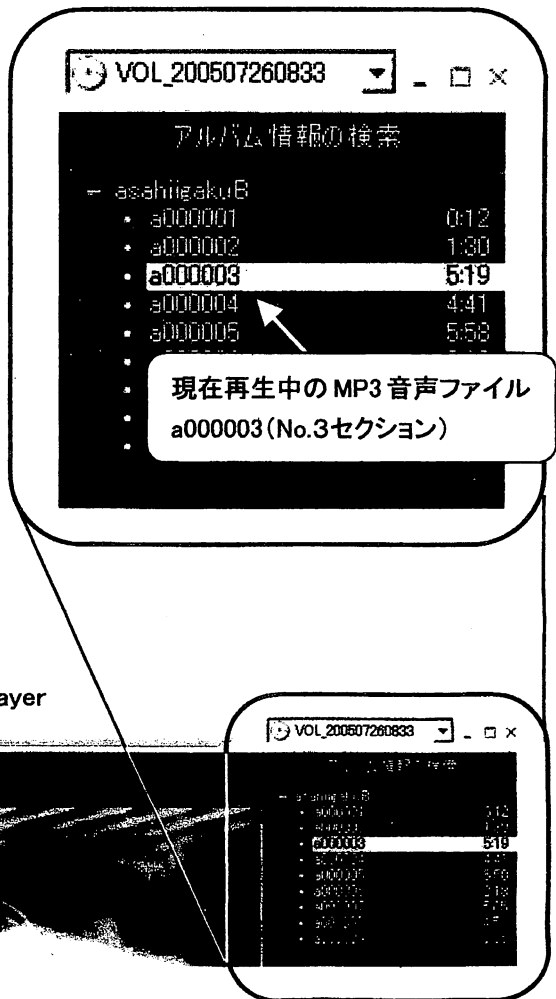


図 Windows Media Player

CD から  
録音  
ソフト



(つづく)

(テープライブラリーにしのみや 鳥生次郎)

## カセットテープからのデジタイズ図書作成(その10・最終回)

### 13. デジタイズ校正後の修正は原プロジェクトで

音声エクスポートで音声ファイルの再構築を繰り返すことは、音質の点から好ましくないと言われている。したがって、音声エクスポート後のプロジェクトを修正編集してさらに音声エクスポートを重ねることは避けるのがよい。デジタイズ校正結果等に基づく追加録音や修正編集は常に音声取り込みを行った原プロジェクトに対して行うようにしよう。原プロジェクトに対して修正編集、音声エクスポートを何度繰り返したとしても、すべて原プロジェクトの二代目(子ども)のプロジェクトということになり、音質の低下が抑えられる。





### 14. 編集でよく用いる操作のまとめ

編集の基本操作は[編集]メニューから実行できるし、セクションまたはフレーズを右クリックして表示されるポップアップメニューからも実行できる。さらに、頻繁に用いるものはツールバーに操作ボタンが用意されているし、キボードからショートカットキーでも実行することができる。このように、一つの作業(例:フレーズやセクションのコピーなど)を行うには3~4通りの方法があり、それぞれ自分に合った方法を選択するとよい。しかし、セクションやフレーズの分割、結合、コピー、貼り付け、削除などの頻繁に繰り返す操作にはスピードアップの観点からショートカットキーの利用をお勧めする。


これまで10回にわたり、「カセットテープからのデジタイズ図書作成」について紹介してきたが、その1で紹介したように、②マイクを使ったダイレクト録音、③MOなどからの音声インポート、④各種デジタイズ図書のDAISYインポートなどとは音声データのPRSへの取込み方法が違っただけであるので、これらの方々にもこのシリーズで紹介してきたことを参考にいただけたらと思う。

編集の基本操作とこれを実行するための各種操作方法を比較表にまとめてこのシリーズの終わりとする。

#### A. セクション、フレーズとも共通の操作

作業	各種操作方法	ツールボタン
セクションやフレーズの 〔切り取り〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・[編集]メニューから[切り取り]を選択</li> <li>・選択したセクションまたはフレーズを右クリックして表示されるポップアップメニューから[切り取り]を選択</li> <li>・右図の[切り取り]ボタン</li> <li>・&lt;Ctrl&gt;+&lt;X&gt;キー</li> </ul>	
セクションやフレーズの 〔コピー〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・[編集]メニューから[コピー]を選択</li> <li>・選択したセクションまたはフレーズを右クリックして表示されるポップアップメニューから[コピー]を選択</li> <li>・右図の[コピー]ボタン</li> <li>・&lt;Ctrl&gt;+&lt;C&gt;キー</li> </ul>	
セクションやフレーズの 〔貼り付け〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・[編集]メニューから[貼り付け]を選択</li> <li>・選択したセクションまたはフレーズを右クリックして表示されるポップアップメニューから[貼り付け]を選択</li> <li>・右図の[貼り付け]ボタン</li> <li>・&lt;Ctrl&gt;+&lt;V&gt;キー</li> </ul>	
セクションやフレーズの 〔削除〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・[編集]メニューから[削除]を選択</li> <li>・選択したセクションまたはフレーズを右クリックして表示されるポップアップメニューから[削除]を選択</li> <li>・(ボタンなし)</li> <li>・&lt;Delete&gt;キー</li> </ul>	
セクションやフレーズの 〔結合〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・[編集]メニューから[結合]を選択</li> <li>・選択したセクションまたはフレーズを右クリックして表示されるポップアップメニューから[結合]を選択</li> <li>・(ボタンなし)</li> <li>・&lt;Ctrl&gt;+&lt;M&gt;キー</li> </ul>	
実施した編集操作を 〔元に戻す〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・[編集]メニューから[元に戻す]を選択</li> <li>・右図の[元に戻す]ボタン</li> <li>・&lt;Ctrl&gt;+&lt;Z&gt;キー</li> <li>注:実施した10回までの操作を元に戻すことができる。</li> </ul>	

### B. セクションとフレーズで異なる操作

作業	各種操作方法	ツールボタン
セクションの[分割]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・[編集]メニューから[セクションの分割]を選択</li> <li>・選択したフレーズを右クリックして表示されるポップアップメニューから[セクションの分割]を選択</li> <li>・右図の[セクション作成]ボタン</li> <li>・&lt;Ctrl&gt;+&lt;Q&gt;キー</li> </ul>	
フレーズの[分割]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・[編集]メニューから[フレーズの分割]を選択</li> <li>・選択したフレーズを右クリックして表示されるポップアップメニューから[フレーズの分割]を選択</li> <li>・(ボタンなし)</li> <li>・&lt;Ctrl&gt;+&lt;P&gt;キー</li> </ul>	

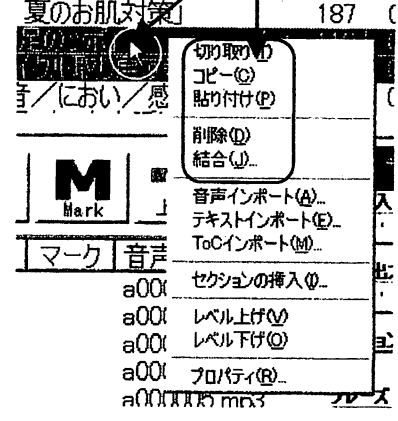
ショートカットキーの組み合わせを忘れたときは、[編集]メニューをクリックすると表示されるメニュー一覧の右側部分に表示してあるので安心。

通常の編集では、<Ctrl>と組み合わせてよく用いる<C>、<V>、<M>、<Q>、<P>キーを覚えておけば充分である。これらのショートカットキー以外でよく用いるショートカットキーとしては、ページ設定で用いる<Ctrl>+<L>キー[最新の情報に更新]がある。

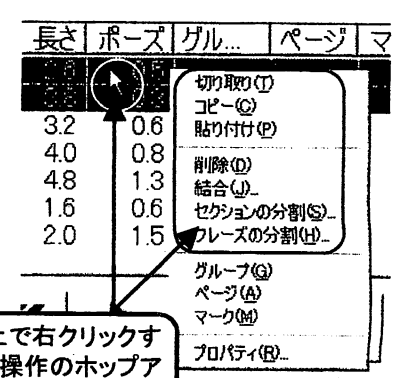
**「編集」メニューに表示されるショートカットキー**

編集(E)	移動検索(M)	コントロール(C)
元に戻す(U)	Ctrl+Z	
切り取り(T)	Ctrl+X	
コピー(C)	Ctrl+C	
貼り付け(P)	Ctrl+V	
削除(D)	Delete	
全て削除(E)		
全て選択(L)	Ctrl+A	
結合(J)	Ctrl+M	
セクションの分割(Q)	Ctrl+Q	
フレーズの分割(H)	Ctrl+P	
セクションの挿入(I)	Shift+Insert	
レベル上げ(W)	F11	
レベル下げ(Q)	Shift+F11	
グループ(G)	G	
ページ(A)	P	
マーク(M)	M	
ページの全削除(S)		
マークの全削除(K)		
コメントの全削除(N)		
プロパティ(R)	Enter	

**選択したセクションの上で右クリックするとセクションに対する操作のポップアップメニューが表示される**



**選択したフレーズの上で右クリックするとフレーズに対する操作のポップアップメニューが表示される**



(おわり)

(テープライブラリーにしのみや 鳥生次郎)